

パネルや指導で禁煙推進

平成24年5月28日



禁煙支援コーナーで二酸化炭素濃度を測定する来場者。27日、倉吉市山根のパープルタウン

平倉吉で啓発イベント

喫煙測定コーナー

「世界禁煙デー」(31日)を前に27日、倉吉市山根のパープルタウン中央広場で、たばこ

が設けられ、喫煙者らが訪れた。たばこによる健康被害の認識を新たにした。

県中部医師会、県中部歯科医師会、県薬剤師会中部支部、県中部総合事務所が主催して実施した。

禁煙支援コーナーでは、呼気中の二酸化炭素濃度の測定や肺年齢、ニコチン依存度のチェックなどがあり、喫煙者らが体験。医師や薬剤師に相談したり、禁煙指導を受けたりした。

このほか、禁煙を補助するニコチンパッチの処方やニコチンガムの説明、禁煙治療の紹介などもあった。

たばこを吸い始めて約10年という同市内の女性(37)は「肺年齢の高さには驚きました。

やはり体に良くないし、周囲にも迷惑が

かる。禁煙宣言して帰ります」と禁煙を前向きに考えていた。

喫煙者の相談に応じた「くらし喫煙問題研究会」代表世話人の松田隆医師は「喫煙者は減少傾向にある。ただ、女性は20、30代を中心に横ばいにある。たばこの害は喫煙者だけの問題でなく、受動喫煙も怖い。失敗しても構わない。とにかく禁煙に挑戦してほしい」と話している。

禁煙啓発イベントは鳥取市でもあった。